



物流 事情

JETRO



バングラデシュ

BOP実態調査レポート

輸送システム概要

バングラデシュの輸送システムは、道路、鉄道、内陸水路、2大港湾(チッタゴン、モングラ)、海上輸送、民間航空路で構成され、国内と国際運輸を担っている。各輸送形態における乗客者数と貨物量は著しく増加したが、増加率はまちまちである。道路網が大きく発達したため、年を追うごとに道路での乗客移動の比率が高まる一方で、鉄道輸送と内陸水上輸送の比率が低下している。

主な輸送システム

道路	主要道路網は、国道、地方幹線道、県道で構成される。2010年の時点で、国道は延べ3,538キロメートル、地方幹線道は延べ4,276キロメートル、県道は1万3,455キロメートル、総距離は2万1,269キロメートルであった。建設と保守は、Roads and Highways Department(RHD)が行っている。
鉄道	国営企業のBangladesh Railwayが運営。総距離は2,855キロメートル、従業員数は3.4万人。
内陸水上輸送	Bangladesh Inland Water Transport Authority(BIWTA)が内陸水上輸送および内水面路の保守を行っている。国内の河川、小川、運河は約2万4,000キロメートルに及び、国土の約7%を占めている。国土の大部分が複雑な水路網で結ばれている。モンスーン期の総距離は約5,968キロメートルだが、乾期には3,865キロメートルに減少する。 <ul style="list-style-type: none"> 距離: 24,000キロメートル 航行可能な水路の距離: モンスーン期5,968キロメートル 乾期3,865キロメートル 輸送乗客数(年間): 8,780万人 輸送貨物量(年間): 58万トン
航空輸送	国際輸送の主な手段は航空輸送である。航空貨物サービスは、輸出向け生鮮食品(生鮮野菜や冷凍エビ等)の迅速な輸送に役立っている。以下は、計画省が公表している航空輸送に関する目標である。 <ul style="list-style-type: none"> シャージャラル国際空港における貨物機向け第2滑走路の建設(ダッカ) ダッカ近郊に第2国際空港建設 チッタゴンおよびシレットの滑走路の延長 外国航空会社の乗り入れ拡大

JETRO

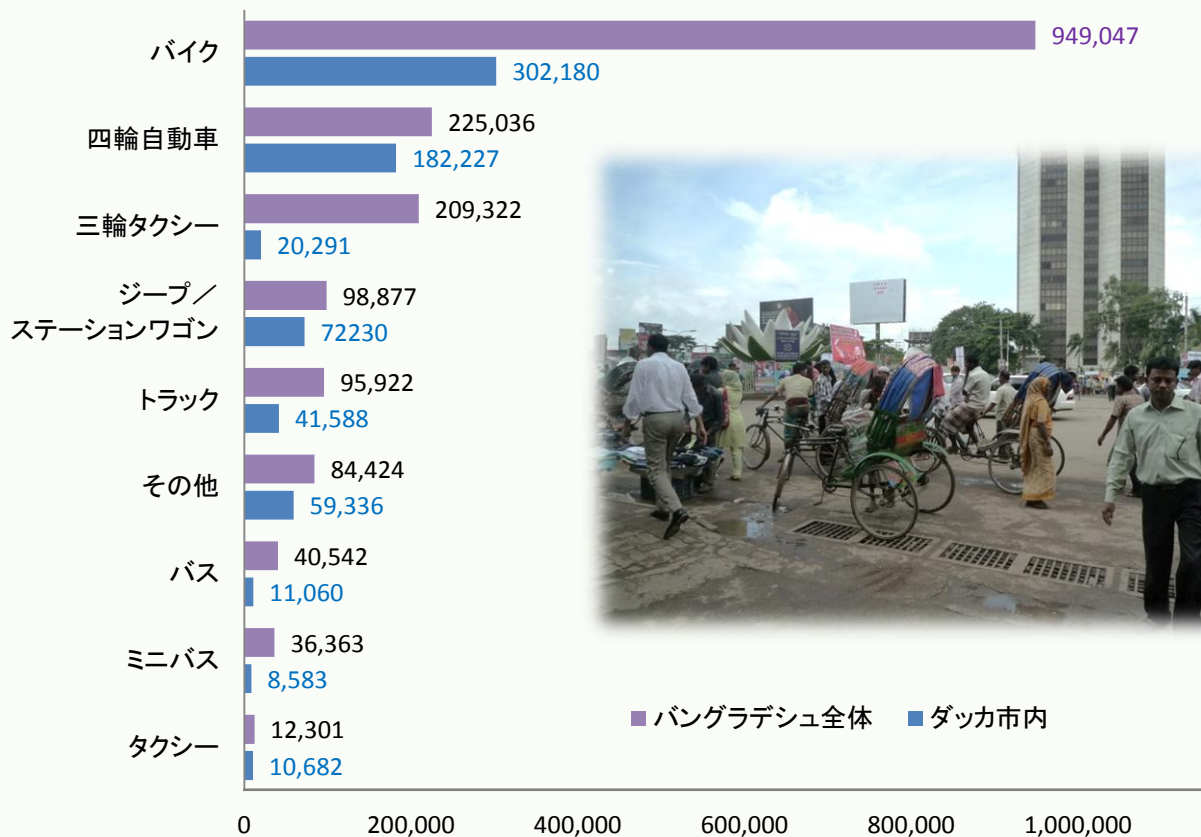


主な輸送システム

登録車両

Bangladesh Road Transport Authority (BRTA)が監督機関となっている。BRTAは1988年に業務を開始し、道路輸送の安全で円滑な運行を図るために、道路輸送部門の規制、効率化等を行っている通信省傘下の機関である。登録数については以下の図の通り。

登録車両台数



市民の交通手段

所得水準や居住地に依りて様々な輸送手段が用いられている。

都市の低所得層と中所得層は、2キロを超える市内の移動にバスやミニバスを頻繁に利用する。高所得層と富裕層は、自家用車やCNG車(天然ガス車)を個人的に使用している。短距離の移動には、自転車タクシーや三輪タクシーが利用される。

地方の人々はミニバスとCNG車をともに利用する。貧困層がCNG車を使用するのは料金が安いからで、5~7人の移動に利用され、乗客がそれぞれ運賃を支払う。自転車タクシーと三輪タクシーは短距離輸送の手段として重要な役割を果たしている。なお、地方でも都市でもバイクの利用が著しく増えてきている。



貨物の輸送手段

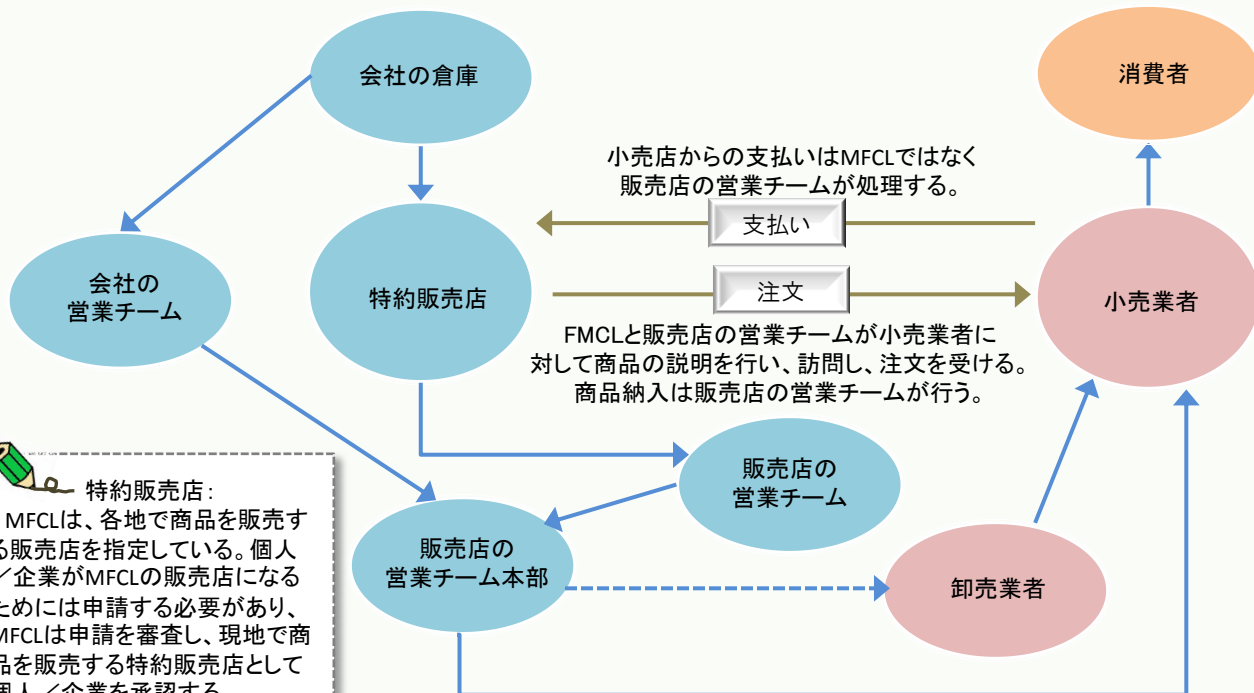
水上輸送とトラックが貨物輸送に使用されている。小さな町へ運ばれた後の商品の輸送には、小型トラックが使用される。

バングラデシュでは、3段階の流通チャネルになっている。商品はまず製造業者から販売業者/代理業者へ、次に卸売業者と小売業者へと運ばれ、最終的に消費者が小売店で購入する。これが典型的な流通形態であるが、企業によって異なり、流通チャネルの各段階で独自の価格設定や報奨制度を取り入れている企業がある。

◆ケーススタディ◆～MF Consumers Limited (MFCL)～

【流通チャネル】

MF Consumers Limited (MFCL) は、20万店以上の国内小売店を擁し、米国Johnson & JohnsonおよびインドCavinkareの消費者製品の総販売代理店となっている。MFCLはJohnson & Johnson製品の販売のために1998年に設立され、2006年にCavinkare製品が取扱商品に加わった。Johnson & Johnson製品の販売総責任者によると、商品流通図は次のとおりであった。



MFCLは現在、卸売業者を bypass せず、小売店に直接接することを試みている。MFCLは卸売業者を完全に無視しているわけではないが、Johnson & Johnson製品を卸売業者に販売する場合、同社は販売店が少額の割引を行うこと、またはJohnson & Johnsonから入手した無償提供品をつけることを認めている。

小売業者は商品を小売上限価格(MRP)で消費者に販売している。



【商品輸送と価格設定】

商品輸送方法は、販売業者が自身の輸送手段を使ってMFCLの倉庫から商品を受け取る方法と、MFCLの輸送手段を利用する方法の2つがある。契約期間中の輸送方法については、契約書に記載されている。販売業者が会社の輸送手段を利用する場合は、費用を支払う必要がある。

商品の価格設定に際して、MFCLは販売業者がコミッションを乗せる方式をとっている。販売業者はMFCLのガイドラインに沿って商品の仕入れ・販売を行う義務を負う。MFCLは販売業者が6%のコミッションを受け取ることを認めている。例えば、販売業者がMFCLから94円で商品を購入し、小売業者に1個100円で販売することができる。

まとめ

近年、ダッカやチッタゴン等の大都市で公共輸送が急速に発達したものの、人口の急激な増加により人々は移動に苦労している。都市問題の専門家であるNazrul Islam教授によれば、ダッカ市は毎年50万人も増加しているという。



しかし、各地を結ぶ道路や高速道路が多数建設された結果、人々はバスでどこにも移動できるようになり、トラックでの貨物輸送も可能になり、いくつもの川に橋が架けられて陸上の交通システムは大幅に改善されている。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。